

小学校6年 学級活動 学習指導案

「ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う」

日 時：平成 年 月 日（ ）

場 所：

授業者： 教諭 河野 圭一

1 単元名 「本当に大丈夫？その書きこみ」

2 単元（主題・題材）について

(1) ねらいについて

携帯電話やインターネットの普及率は年々増加している。平成21年度熊本県公立学校いじめアンケート調査結果では、「インターネットに接続できる携帯電話やパソコンを持っている」と回答した児童が39.3%である。「ネット上のいじめを受けたことがある」と回答した児童が0.1%いる。(2010年6月、熊本県教育委員会)学校非公式サイトについても、昨年度と比較して、書きこみをしたり、聞いたり見たりしたことがある児童は若干ながら増加している。このような実態から小学校の段階から携帯電話やインターネットの利点や欠点、使用する際の注意点などを十分に指導する必要があると考える。今後特に、個人情報の流出防止や不特定多数の者に対して容易に情報発信ができるという特性を悪用した「学校非公式サイト」に関する指導は重要になってくると考える。

小学校高学年の時期は、様々な教科で調べ学習などを行い、インターネットを活用する機会が増える。また、県教委の調査では携帯電話の所持率も中学生になると倍増する。(同上調査)行動範囲広がり、携帯電話やインターネットを利用する機会が増加するこの時期に学習をする意義は大きいと考える。

(2) 児童の実態について

児童の実態について (男子〇〇人 女子〇〇人 計〇〇人) (調査実施は〇〇人)

携帯電話を持っている。	〇〇人
家庭でインターネットができる。	〇〇人
携帯電話でメールをしたことがある。	〇〇人
家で携帯電話を使う時のルールがある。	〇〇人
家でインターネットを使う時のルールがありますか。	〇〇人
「学校裏サイト」を知っていますか。	〇〇人
「掲示板」に書き込みをしたことがありますか。	〇〇人
インターネットや携帯電話を使う時はどんなルールがありますか。	
・使う時間・使う場所・保護者と一緒に・使う機能・許可を得て使用・書き込み禁止	

- ・携帯電話を所持している児童は〇〇人（〇〇％）と大変高い。
- ・家庭でインターネットに接続できる家庭は〇〇％である。
- ・日々の生活では、男女関係なく遊ぶ姿が見られる。携帯電話を所持している児童同士ではメールのやり取りをしている。
- ・家庭でインターネットや携帯電話を使う際にルールがある家庭は、携帯電話で〇〇％、インターネットで〇〇％である。
- ・インターネットや携帯電話を使って掲示板に書き込みをした経験のある児童は一人である。
- ・「学校裏サイト」について知っている児童は一人である。
- ・掲示板や学校裏サイトに関する知識や経験がほとんどないため、現時点での的確な指導が必要かつ大変重要であると考ええる。

（３）資料について

今回の学習では「ネット社会の歩き方」の「６ ネットでの悪口は要注意」を使用する。

交流のある学校の掲示板に面白半分に友達が悪口を書きこむ。書きこんだ児童は、「どうせばれないから」という気持ちがある。日常の道徳としても、人の悪口を言わないことや陰ひなたのない行動をとることは大切なことである。しかし、インターネットを活用した通信においては、瞬時に広範囲に情報を発信できる反面、匿名性や一度発信した情報の修正や回収が困難であるという問題点がある。今後、インターネットを活用したメールや掲示板などを活用する機会の増加する児童に、その使用方法を指導することは重要であると考ええる。ここでは、学校裏サイトの存在についても知らせ、自分の行動の影響や法的な意味についても指導する。

学習の導入部分では、インターネットを活用した通信の利点をまず指導したい。資料を提示する際は、原因となる悪口の書き込みの場面を提示した後、どのような結果を引き起こすのかを考えさせたい。また、インターネットや携帯電話など情報通信機器等を活用できる環境に個人差が大きいため、日常の生活を想起させ日常の生活で大切なことがインターネットを使用する際も大切であることをおさえる。

（４）指導にあたって

- ・情報機器等の使用経験や使用環境の違いから、結果を想像する力に個人差がみられる。そのため、情報通信社会の特性を導入で指導する。
- ・児童が遭遇する情報モラルに関する判断場面が多岐にわたるため、情報通信社会の仕組みを理解させることで、新たな判断場面でもこれまでの学習や経験をもとに判断ができるようにさせる。
- ・教材の中だけでの話としてではなく、自分が本当にその場面に遭遇したらどうするかという視点で考えさせる。
- ・授業は一斉指導の形態を基本に行う。

（５）情報モラル教育の視点から

ア 本時は、「モデルカリキュラム」の目標「５．公共的なネットワーク社会の構築」、項目「i3-1: ネットワークは共有のものであるという意識を持って使う」との関連を重視して展開する。

- イ 本時は情報モラルの内容を教材化して授業を行う。ネット上の掲示板は大変便利であるが、匿名性が高いことや情報の信ぴょう性、不特定多数の人が見ることなどの点を考慮して書きこみをする必要がある。日常モラルをもとに身近なことから絡めながら指導していく。
- ウ 児童が情報通信社会に意欲的に参画していくために、利点と問題点のバランスを考えて指導を行う。
- エ 情報通信社会の特性から、情報発信に関する点だけではなく、様々な事例に対応できるように起こりうる影響や結果を想像させる。
- オ 情報通信社会でも、日常のモラルが大切であることを十分に指導する。

(6) 人権教育の視点

- ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。

3 本時の学習 (1 / 1 時間)

(1) 目 標

情報通信社会の特性を知り、自分の行動がどのような影響を持つかを考えることで、よりよいネット社会を実現するための判断力を養う。

(2) 展 開

過 程	学習活動と主な発問	児童の反応	指導上の留意点と 評価	備考
導 入 5	①インターネットの仕組みについて知る。 ・利点について考える。 ○インターネットを使ったことのある人いますか。	・社会の調べ学習で使いました。 ・家でお母さんと料理のレシピを調べました。	・インターネットの利点を指導する。 ・いつでも ・どこにでも ・誰にでも ・いろいろなものが	
5	②掲示板について知る。 ○インターネット上には、分からないことを質問したり、同じ趣味の人同士が話したりする掲示板があります。	・情報交換が簡単にできそうであ。 ・使ったことがあるよ。 ・うちのお父さんがよく使っているよ。	・掲示板を使うと遠く離れた人と情報交換ができること ・たくさんの人と情報交換ができること ・だれでも利用できること ・実際の掲示板を示し、これまで経験のない児童にもイメージを持たせる。	
	インターネット上の掲示板の使い方を考えよう			
展 開 15	③「ネット社会の歩き方『ネットで悪口は要注意』」を見て問題点を考える。 ○クミコさんとカオルさんの行動に問題点はありますか。	・人の悪口は、普段の生活でも言うてはいけないように掲示板にも書いてはいけない。 ・誰が書いたかは、調べれば分かる。	・悪口を書くことについて ・本当にばれないか？ ・自分が書かれたらどうか？ ・日常生活と重ねながら考えさせる。	
15	④インターネットの掲示板を使う時に注意する点を考える。 ○インターネットの掲示板には、たくさんいいところがありました。が、使う時に注意する点について考えてみましょう。	●「いつでも」危険な情報が手に入る。 ●「どこにでも」悪い情報が広がっていく。 ●「悪い人でも」情報を送受信できる。 ●「いろいろなものが」送受信できる。 ●悪いことでもたくさんコピーができる。 ●だれがしたかわかる。	・学校裏サイトについても知らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">評価 A ネット社会の特性から、掲示板利用の留意点を考えることができる。 B 掲示板を利用する際の留意点を考えることができる。 支援：「悪い人でも」などのキーワードを与えて考えさせえる。</div>	
終 末 5	⑤インターネット掲示板の使い方についてまとめる。 ○インターネット掲示板は便利なものであるが、使う時に注意することがあります。	・掲示板の向こうにも相手がいることを考えよう。 ・	○次の点を確認する。 ・確かな情報を発信する。 ・情報は取捨選択する。 ・発信した情報は、訂正や回収が難しい。 ・ネットの向こうにも必ず相手がいることを意識する。 ・誰がしたかわかる。	

4 全体計画

情報モラル	道徳、各教科・特別活動 他
a3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ。	道徳 礼儀は心のあらわれ「江戸しぐさ」 ・礼儀
b3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する。	図工「心広がる場面」 ・それぞれの作品を鑑賞しながら思いの違いやそのよさを認め合っている。
c3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる。	道徳 生活を見直して「けいたい電話を持たせない」 ・節度ある生活態度
d3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。	国語科 「自分の考えを発信しよう」 図書やインターネットや資料から情報を集め、自分の考えの裏付けや立場をはっきりさせて発表する。 学級活動「正しく使おう携帯電話」 携帯電話を利用してインターネットを使用する際に情報の送受信における注意点を学ぶ。〔本時〕
e3：情報を正しく安全に利用することに努める。	
f3：安全や健康を害するような行動を抑制できる。	保健 病気の予防「生活行動がかかわって起こる病気の予防」 ・生活習慣病など行動様式が主な要因となって起こる病気の予防には、栄養の偏りのない食事や口腔の衛生など、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であること。また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること
g3：生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る。	
h3：情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる。	
i3：情報社会の一員として、公共的な意識を持つ。	総合的な学習の時間 「インターネットで調べよう」 インターネットで集めた資料や画像の保存の仕方を身につけるとともに、情報収集の際の注意事項（著作権等）を知る。 学級活動 「本当に大丈夫？その書きこみ」 情報通信社会の特性を知り、自分の行動がどのような影響を持つかを考えることで、よりよいネット社会を実現するための判断力を養う。

板書計画

情報モラル学習 「掲示板の使い方」

◎インターネットの良いところ

「いつでも」情報を送ったり、受け取ったりできる

「どこにでも」

「だれにでも」

「いろいろな」

学習のめあて

掲示板の使い方について考えよう！

まとめ

- ・ 悪口はインターネット上でも禁止
- ・ たくさんの人が見ることを考える
- ・ 個人情報絶対のせない
- ・ 相手の事を考える
- ・ したことの記録が残る

課題

カオルさんとクミコさんの行動に問題点はありませんか？

- ・
- ・
- ・
- ・

掲示板を使う時注意することは何ですか？

- ・
- ・
- ・
- ・